

【研究室紹介】

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 墨田支所の紹介

山田 巧

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター地域技術支援部墨田支所

1. 東京都立産業技術研究センターについて

東京都立産業技術研究センターは今年で創立100周年を迎えます。1921年（大正10年）に日本の産業発展・海外競争力向上のため、府立東京商工奨励館が設立されました。この奨励館設立では、今現在NHK大河ドラマで放送されている渋沢栄一氏も深く関わったとされています。その後1970年に東京都電気研究所と統合し、都立工業技術センターとなり、以降アイソトープ総合研究所、繊維工業試験場との統合を経て、2006年に現在の東京都立産業技術研究センターになりました。今年は食品技術センターとも統合しました。

都内中小企業の産業振興を図り、都民生活の向上に寄与することを目的とする公設試験研究機関であり、技術相談や依頼試験、セミナー・講習会、研究開発まで幅広い支援を行っています。依頼試験では、2019年の依頼試験結果発行件数は13,279件、枚数を積み上げると約5.2m（キリンとほぼ同じ）、重さは約230kg（雄ライオンとほぼ同じ）になります。お台場にある本部の他、地域の産業特性を踏まえた技術支援を行う支所が存在します。

2. 墨田支所について

私が所属する墨田支所は2000年に開設され、ニット業・アパレル業が多い地域特性からニットやアパレル縫製、繊維評価分野を中心となり支援してきました。より幅広い生活用品、産業資材、雑貨分野の高付加価値なものづくり支援を推進するため、2013年に生活技術開発センターとしてリニューアルしましたが、本年度の組織変更により墨田支所に戻りました。以下3つの分野で技術支援を行っています。

快適性評価

サーマルマネキン、発汗ホットプレート、日射環境試験を備え、繊維素材から工業製品まで幅広い製品の温熱評価を支援しています。主な研究に暑熱環境に快適なスポーツウェア開発や日射シミュレーション手法の開発などがあります。

安全性評価

におい嗅ぎ GC/MS、におい識別装置を備え、異臭分析、消臭性試験、クレーム解析のほか、KESシステムによる風合い評価や衣服圧評価も行っています。主な研究に消臭機能を持つ加工剤の開発、消臭剤性能の要因分析などがあります。

製品化支援

筋電計、シート型圧力測定装置、モーションキャプチャシステム、フォースプレートを備え、人間特性や使用環境特性に配慮した製品開発支援を行っています。主な研究にアシストウェアの開発、スポーツ用具の開発などがあります。

3. おわりに

コロナ収束が不透明の中、気軽に来所下さいとは言い難いため、墨田支所のGoogleストリートビューを紹介させていただきます。コロナ禍でヒトとの接触を極力避ける体制のなか、新たな普及コンテンツとして昨年アップしました。いくつかの機器はYoutubeに動画投稿もしました。まずはこれらにて来所いただき、ご興味がありましたら以下までお問い合わせいただければ幸いです。



図 Google ストリートビュー画像

<連絡先>

〒130-0015 東京都墨田区横網1-6-1KFCビル12F
(地独) 東京都立産業技術研究センター墨田支所
山田 巧
電話: 03-3624-3731
Eメール: yamada.takumi@iri-tokyo.jp